



# TOKYO 2020

## 大会関係車両に係る高速料金について

2021年4月14日

# 1 案件概要

東京大会では、大会関係者車両が安全で円滑に移動できるよう、ORN/PRNは、主に高速道路で構成している。大会運営上、大会関係者車両が、このORN/PRNを含めた高速・有料道路を利用した場合の費用に対し、以下の範囲において組織委員会が負担する。

なお、当該費用は、原則、組織委員会名義のETCカードを用いて決済し、使用された高速料金は、毎月当月使用分について、翌月請求があり、翌々月末払いで支払う。

## (1) 組織委員会 運営車両（フリート車両：T1・T2・T3、割当車両[NOC,IF,OBS,MP]等）

期間： 車両を運行する期間（2021年4月から11月※1）

範囲： 特に制約なし※2

※1 大会終了後、OBSが一部車両を2021年11月頃まで継続して使用する予定

※2 割当車両には、私的な理由または人の商業輸送のためには使用されないことを事前に誓約している。

## (2) ステークホルダー手配車両（レートカード車両、持ち込み車両）

期間： 開村から閉村まで（オリ：7/13~8/11、パラ：8/17~9/8）

範囲： ORN/PRNに設定した有料道路（東京圏の高速道路はネットワークのため、エリアとして設定）

## 2 執行見込額の積算方法

(1) 組織委員会 運営車両 (フリート車両 : T1・T2・T3、割当車両[NOC,IF,OBS,MP]等)

総シフト数<sup>I</sup> × 1日あたりのカテゴリー別平均高速料金<sup>II</sup>

I カテゴリー別にオリンピック、パラリンピックの競技開催状況等を考慮し、日毎の総シフト数を想定

II カテゴリー毎に車両基地と各会場・空港との高速料金単価を想定し、カテゴリー毎の特性(想定トリップ数)に応じて、1日当たりのカテゴリー別平均高速料金を想定

(2) ステークホルダー手配車両 (レートカード車両、持ち込み車両)

【1日の想定利用料金】

近接や遠方会場3会場を移動するパターンとして、3パターンを想定し、その平均値と仮定

### 3 今後のスケジュール（予定）

2021年 4月 東京都作業部会

2021年 4月 大会車両（OBS割当車両、FA等一部車両）の高速利用開始

2021年7～9月 大会車両の本格運用

2021年10月末 組織委員会負担外費用について、各SHへ請求

2021年11月 大会車両の高速利用終了（OBS割当車両等一部車両）

2022年 1月 高速料金の支払い業務終了